

【前回配布資料】

第6回福井県高等学校教育問題協議会

就学・就労形態等に応じた 定時制・通信制課程の在り方について 【論点・現状と課題】

- 定時制・通信制、学年制・単位制について P 1
- **論点1**
 - ・ 生徒の入学動機や生活状況の多様化に対応するために、
就学形態はどうあるべきか P 4
- **論点2**
 - ・ 生徒や社会のニーズの多様化に対応するために、
教育体制はどうあるべきか。 P1 0
- **論点3**
 - ・ 教育効果を高めるためには、学校の規模、配置は
どうあるべきか。 P1 4
- 【参考資料】
 - ・ 近県の定時制・通信制高等学校の状況 P1 6

定時制・通信制、学年制・単位制について

1 定時制・通信制について

定時制・通信制課程は、学校教育法制定時(昭和23年)から設けられている制度で、創設の趣旨は以下のとおり。

- ・定時制 : 中学校を卒業して、仕事に従事するなど様々な理由で全日制の高校に進めない青少年に対して高校教育を受ける機会を与える。
- ・通信制 : 全日制・定時制の高校に進学することができない青少年に対して、通信の方法により高校教育を受ける機会を与える。

【出典:文部科学省ホームページ】

定時制課程

- ・夜間その他特別の時間において授業を行う課程。修業年数は3年以上(学校教育法に規定)。
- ・1日に4時間程度の授業を行う学校が多いが、6時間の授業を行う例もある。

通信制課程

- ・通信による教育を行う課程。修業年限は3年以上(学校教育法に規定)。
- ・基本的には自主学習により、課題の添削(レポートの添削指導)を受けることで学習を進めるが、同時にスクーリング(面接指導)が月に数回程度行われる。
- ・添削指導、面接指導、試験などを通じて単位認定される。

2 学年制・単位制について

高等学校は、「学年制による教育」と「単位制による教育」との2種類がある。従前は学年制による教育しか存在しなかったが、昭和63年度に単位制による教育が定時制課程と通信制課程で認められ、さらに平成5年度には全日制課程にも認められた。

学 年 制

- ・必ず各学年ごとに課程修了の認定がなされてから次学年の課程に進む方式。
- ・年度末に各学校が個々の生徒に対して進級を認定(認定されないと原級留置)。
- ・最終学年の課程を修了し、全課程の修了が認められれば卒業することができる。

単 位 制

- ・学年による教育課程の区分を設けない方式。(原級留置という概念はない。)
- ・一定期間(転学・編入でない場合、全日制課程では3年、定時制課程・通信制課程では3年以上)在学し、必要な単位の取得などをして、全課程を修了したと認められれば卒業することができる。

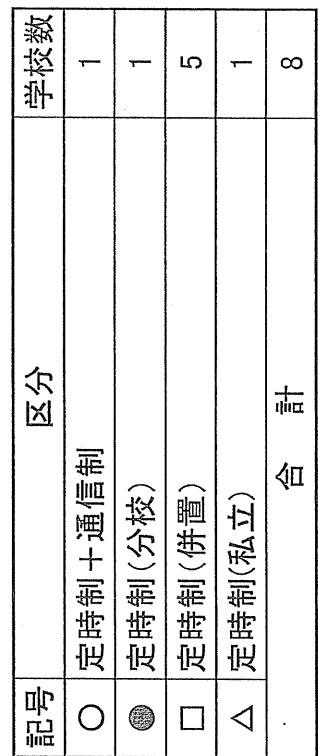
定時制・通信制課程の授業開設形態等について

○県立高等学校

課程	定 時 制 の 課 程		通 信 制 の 課 程																																																																																																																																																																						
	学 年 制	単 位 制	学 年 制	単 位 制																																																																																																																																																																					
授 業 開 設 形 態	① 昼間二部制 <table><tr><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td></tr><tr><td>1</td><td>A : 学 校</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>B : 職 場</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>午 前</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>午 後</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>A : 職 場</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>B : 学 校</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・学校と職場を1週間ごとに午前と午後で交代する。	月	火	水	木	金	1	A : 学 校				2	B : 職 場				3					4					午 前					午 後					1	A : 職 場				2	B : 学 校				3					4					② 夜間 <table><tr><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>夜 間</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	月	火	水	木	金	1					2					3					4					夜 間					① 昼間単位制 <table><tr><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>昼 間</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>特 設</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	月	火	水	木	金	1	2	3	4		昼 間					特 設	1	2																							② 夜間単位制 <table><tr><td>特 設</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>夜 間</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	特 設	1	2			夜 間	1	2	3	4																														
	月	火	水	木	金																																																																																																																																																																				
1	A : 学 校																																																																																																																																																																								
2	B : 職 場																																																																																																																																																																								
3																																																																																																																																																																									
4																																																																																																																																																																									
午 前																																																																																																																																																																									
午 後																																																																																																																																																																									
1	A : 職 場																																																																																																																																																																								
2	B : 学 校																																																																																																																																																																								
3																																																																																																																																																																									
4																																																																																																																																																																									
月	火	水	木	金																																																																																																																																																																					
1																																																																																																																																																																									
2																																																																																																																																																																									
3																																																																																																																																																																									
4																																																																																																																																																																									
夜 間																																																																																																																																																																									
月	火	水	木	金																																																																																																																																																																					
1	2	3	4																																																																																																																																																																						
昼 間																																																																																																																																																																									
特 設	1	2																																																																																																																																																																							
特 設	1	2																																																																																																																																																																							
夜 間	1	2	3	4																																																																																																																																																																					
福井・坂井地区	○道守高校〔普通科 40〕 〔商業科 40〕 〔分校〕	○道守高校〔普通科 120〕 〔衛生看護科 120〕	○道守高校 〔普通科単位制コース 80〕	・特設授業は、定時制と同じような一斉授業で90分授業を行う。																																																																																																																																																																					
奥越地区	○大野高校〔普通科 80〕																																																																																																																																																																								
丹南地区		○武生高校〔普通科 40〕																																																																																																																																																																							
嶺南地区		○敦賀高校〔普通科 40〕 ○若狭高校〔普通科 40〕																																																																																																																																																																							

※ []中の数字は、平成20年度の募集定員である。

定時制・通信制高校配置図



論点 1

生徒の入学動機や生活状況の多様化に対応するために、就学形態はどうあるべきか。

【現状と課題】

1 本県における定時制・通信制高校の設置状況

- 本県の定時制・通信制高校の設置数は、本校7、分校1の計8校であり、定時制の就学形態は、昼間制・夜間制がとられている。
- 定時制において、自校での3年修学が可能なのは武生・福井南の2校。他校においては、道守の通信制学年制コースでの併修を要するため、生徒の負担が大きい。

<定時制・通信制の現況>

定時制

No.	学校名	就学形態	設置学科	自校で 3修可能
県立	道守高等学校	昼間二部制	普通科	
		夜間	普通科 商業科	
	丸岡高等学校城東分校	昼間二部制	普通科	
	大野高等学校	昼間二部制	普通科	
	鯖江高等学校	夜間	普通科	
	武生高等学校	昼間(単位制)	普通科	○
		夜間(単位制)	普通科	○
	敦賀高等学校	夜間	普通科	
	若狭高等学校	夜間	普通科	
私立	福井南高等学校	昼間(単位制)	総合学科	○

通信制

学校名	就学形態	設置学科	内 容
道守高等学校	学年制	普通科	・年間25日間程度、日曜日に登校。
		衛生看護科	・年間25日間程度、日曜日に登校。 ・本校で普通科目、鯖江准看護学院で専門科目を履修。
	単位制	普通科	・学年進級制をとらず、個々の進度で学習。 ・スクーリング(月曜日)と特設授業(火～金)の多様な開講科目から希望の時間帯・科目を選択。

2 県内定時制高校生徒数の推移

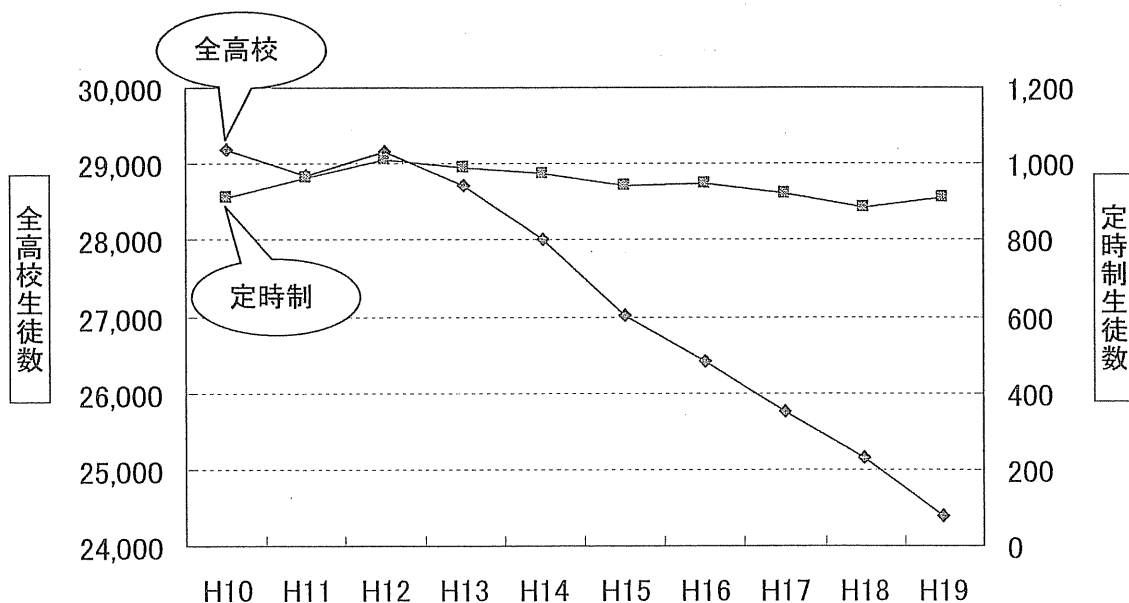
- 高等学校生徒数が減少する中、過去10年間定時制の生徒数はほぼ横ばいであり、県内高等学校生徒数において定時制生徒数が占める割合は、微増傾向にある。

(平成19年5月現在:3.7%)

＜県内高等学校生徒数と定時制生徒数の全体に占める割合＞

区分	高等学校生徒数			定時制生徒数			定時制生徒数の割合		
	公立	私立	合計	公立	私立	合計	公立	私立	割合
10	22,207	6,987	29,194	610	301	911	2.1%	1.0%	3.1%
11	21,948	6,903	28,851	667	299	966	2.3%	1.0%	3.3%
12	22,351	6,823	29,174	695	315	1,010	2.4%	1.1%	3.5%
13	22,002	6,711	28,713	702	288	990	2.4%	1.0%	3.4%
14	21,444	6,575	28,019	701	275	976	2.5%	1.0%	3.5%
15	20,679	6,323	27,002	689	254	943	2.6%	0.9%	3.5%
16	20,298	6,105	26,403	700	246	946	2.7%	0.9%	3.6%
17	19,754	6,004	25,758	670	252	922	2.6%	1.0%	3.6%
18	19,214	5,927	25,141	631	252	883	2.5%	1.0%	3.5%
19	18,605	5,801	24,406	663	250	913	2.7%	1.0%	3.7%

【出典:学校基本調査】



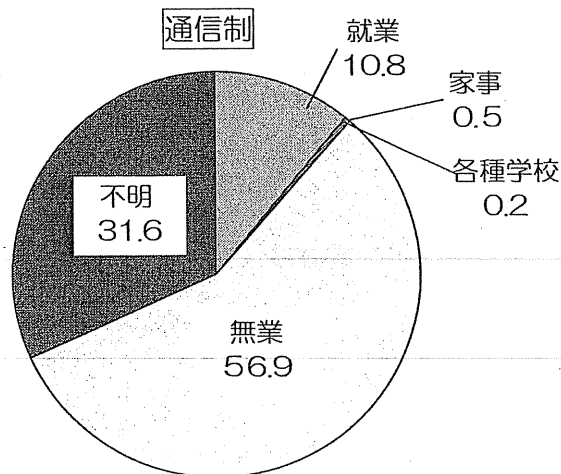
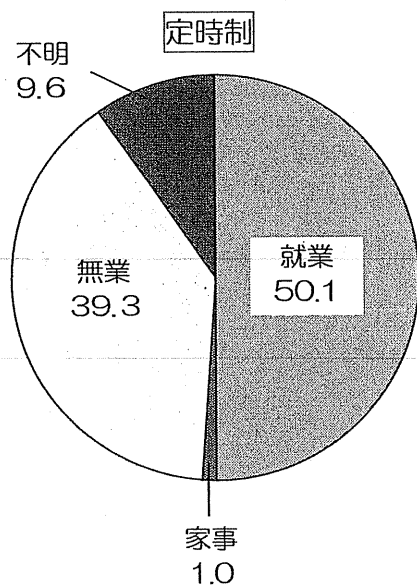
3 生徒の就業状況

- 定時制課程は、本来、経済的な理由等で全日制の高等学校に進めない勤労青少年に対して、高等学校教育を受ける機会を与えるために設けられた制度であるが、現在、定時制に通う生徒の就業率は、約5割となっている。また、通信制課程における就業率は約 1 割となっている。

<平成 18 年度 定時制・通信制課程における生徒の就業状況(%)>

課 程		就業	家事	各種 学校	無業	不明	計
定時制	人数	316	6	0	248	60	630
	割合	50.1%	1.0%	0.0%	39.3%	9.6%	
通信制	人数	108	5	2	569	316	1000
	割合	10.8%	0.5%	0.2%	56.9%	31.6%	

【出典：福井県高等学校定時制通信制概要】



4 通信制高校の生徒数

- 通信制課程は、毎日通学する全日制や定時制の高等学校に進めない者に対し、通信の方法によって高等学校教育を与えることを目的とし、本県では道守高等学校に設置。
- 生徒数は、過去10年間1,000人前後でほぼ横ばい。

<道守高等学校通信制課程生徒数の推移>

年度	学年制 (普通科・衛生看護科)					単位制 (普通科)				通信制合計				併 修 生	合計
	1年	2年	3年	4年	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	4年		
H11	64	79	70	453	666	89	99	176	364	153	178	246	453		1,030
H12	85	89	103	339	616	86	88	210	384	171	177	313	339		1,000
H13	120	116	98	335	669	82	80	183	345	202	196	281	335		1,014
H14	103	140	134	271	648	81	80	198	359	184	220	332	271		1,007
H15	104	149	166	267	686	94	69	169	332	198	218	335	267		1,018
H16	98	101	145	313	657	98	89	147	334	196	190	292	313	27	1,018
H17	97	113	97	357	664	69	88	167	324	166	201	264	357	25	1,013
H18	77	105	90	367	639	73	64	204	341	150	169	294	367	20	1,000
H19	69	86	103	377	635	74	67	194	335	143	153	297	377	24	994

【出典：福井県高等学校定時制通信制教育概要】

○ 通信制課程は、全日制や定時制からの異動の「受け皿」としての役割も果たしている。

<道守高校通信制への転入・編入者数>

・平成16年度

区 分		全日制から	定時制から	通信制から
転入	県内	59	1	11
	県外	0	0	0
編入	県内	38	6	0
	県外	0	0	0
計		97	7	11

・平成17年度

区 分		全日制から	定時制から	通信制から
転入	県内	39	1	2
	県外	0	0	0
編入	県内	52	10	5
	県外	2	1	0
計		93	12	7

・平成18年度

区 分		全日制から	定時制から	通信制から
転入	県内	35	3	6
	県外	1	0	0
編入	県内	37	6	0
	県外	0	0	0
計		73	9	6

【出典：高校教育課調査】

※ 転入：同種の学校に在籍している生徒が、他の学校に移る場合。

※ 編入：中退者、外国からの帰国者等が他の学校に移る場合。

5 就学形態の在り方についての検討の方向性

- 現在、定時制・通信制課程は、従来からの「働きながら学ぼうとする青少年への高校教育の保障の場」という役割に加え、「様々な就学動機や就労形態を持つ生徒の教育の場」、「生涯教育の場」としての新たな役割を果たすことが求められている。
- こうした新しい時代に対応した就学形態の実現を図るため、今後、主として以下の点について検討が必要と考えられる。

検討の方向性

1 授業開設形態の在り方

- ・ 生徒の生活実態・就業状況、地域の実情などを踏まえて、昼間部・夜間部それぞれの在り方について検討が必要。
- ・ 就労と学習を隔週で午前と午後に変化する昼間二部制については、紡績会社など本来昼間二部制を必要としていた企業が減少しているため、生徒の就学・就労形態や生徒のニーズを考慮し、在り方の検討が必要。

2 履修形態の在り方

- ・ 社会や生徒のニーズが多様化する中、科目の履修形態については、より柔軟な履修形態が求められており、単位制の実施拡充などの検討が必要。
- ・ 学年制、単位制については、昼間・夜間の授業開設形態や生徒の実態等を踏まえて、各学校ごとに望ましい在り方の検討が必要。
- ・ 生徒の負担軽減等を図るため、自校において修業年限3年で卒業できる教育課程の編成の検討が必要。

論点2

生徒や社会のニーズの多様化に対応するためには、教育体制はどうあるべきか。

【現状と課題】

1 学科別生徒数の推移

- 過去5年間の定時制・通信制高校の学科別生徒数は、以下のとおり。各校における生徒数には、目立った増減はみられず、ほぼ一定となっている。

<定時制>

No.	学校名	学科	生徒数				
			H15	H16	H17	H18	H19
1	道守高等学校	普通科	236	243	227	218	242
		商業科	21	23	26	30	24
2	丸岡高等学校城東分校	普通科	80	85	88	74	77
3	大野高等学校	普通科	91	99	87	63	66
4	鯖江高等学校	普通科	34	43	41	47	39
5	武生高等学校	普通科	149	135	131	126	133
6	敦賀高等学校	普通科	37	33	33	36	44
7	若狭高等学校	普通科	41	39	37	36	38
合 計			689	700	670	630	663

<通信制>

No.	学校名		設置学科	生徒数				
				H15	H16	H17	H18	H19
1	道守高等学校	学年制	普通科	680	651	661	634	629
			衛生看護科	6	6	3	5	6
		単位制	普通科	332	334	324	341	335
合 計				1,018	991	988	980	970

【出典：福井県高等学校定時制通信制教育概要】

2 通信制生徒の年齢層

- 通信制生徒の年齢層は、定時制に比べて15歳から40歳代以上まで幅広く分布しており、異世代間の交流と通じて他者への理解を深め、自分自身の生き方についても深く考える機会としての利点があるといえる。

<定時制生徒の年齢構成の推移>

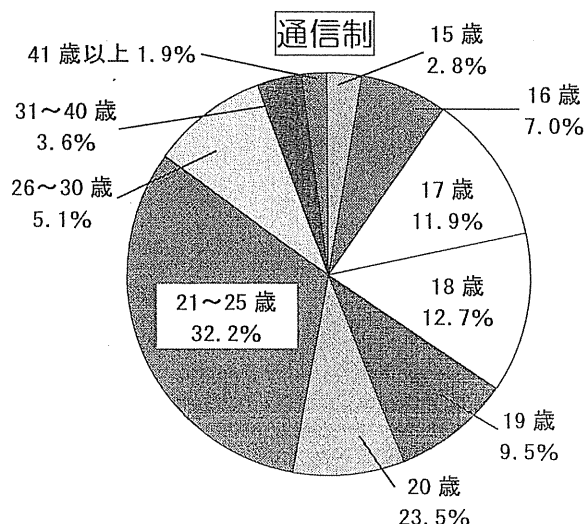
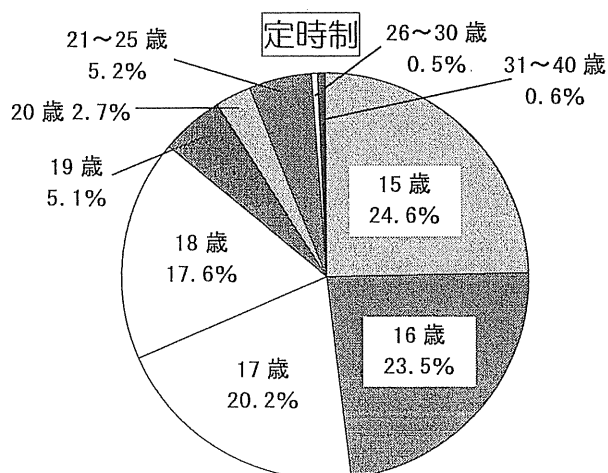
	15	16	17	18	19	20	21～ 25	26～ 30	31～ 40	41 以上	不明	計
H11	164	165	150	108	58	3	12	3	2	3		668
H12	202	186	144	99	20	7	20	2	3	4	10	697
H13	160	190	161	99	37	13	26	8	4	1	3	702
H14	193	149	159	109	35	17	22	10	3	2	2	701
H15	161	173	134	95	30	10	15	2	1	1	0	622
H16	172	173	178	91	35	17	17	8	8	0	1	700
H17	133	168	157	125	28	16	28	8	7			670
H18	137	144	150	95	36	22	34	8	4			630
H19	163	156	134	117	34	18	34	3	4			663

<通信制生徒の年齢構成の推移>

	15	16	17	18	19	20	21～ 25	26～ 30	31～ 40	41 以上	不明	計
H11	71	105	129	146	93	80	274	55	17	22		992
H12	82	105	138	131	115	72	239	69	15	34	0	1,000
H13	78	132	158	131	92	88	225	53	21	36		1,014
H14	66	134	181	154	94	72	208	49	19	30	0	1,007
H15	76	131	214	162	91	72	199	21	24	28	0	1,018
H16	69	110	155	187	117	81	219	37	24	19	0	1,018
H17	43	109	144	133	136	84	243	47	31	5	13	988
H18	40	64	151	128	107	112	279	65	32	22		1,000
H19	27	68	115	123	92	86	314	92	35	18		970

【出典：福井県高等学校定時制通信制教育概要】

<平成19年度 定時制・通信制課程生徒の年齢構成>



3 定時制通信制課程卒業者の進路状況

- 過去3年間の卒業者の進路をみると、進学者の割合が増加傾向にあり、無業者の割合は減少傾向にある。

年 度		進学				就職	無業 ※	その他	卒業者 計
		大学	短大	専修 等	計				
H16	人数	6	5	12	23	58	20	16	117
	割合	5.1%	4.3%	10.3%	19.7%	49.6%	17.1%	13.6%	100.0%
H17	人数	5	2	34	41	68	16	17	142
	割合	3.5%	1.4%	23.9%	28.8%	47.9%	11.3%	12.0%	100.0%
H18	人数	7	4	24	35	65	7	8	115
	割合	6.1%	3.5%	20.8%	30.4%	56.5%	6.1%	7.0%	100.0%

※無業には、職業訓練校在学者を含む。 【出典：福井県高等学校定時制通信制教育概要】

- 就職者の就職先は、「技能工・生産工程作業」が最も高く、次いで「販売業」、「サービス業」となっている。

年 度		専門的・ 技術的 職業	事務	販売	農林	運輸・ 通信	技能工・ 生産工 程作業	保安 職業	サー ビス	その 他	合計
H16	人数	5	0	11	2	2	20	0	15	3	58
	割合	8.6%	0.0%	19.0%	3.4%	3.4%	34.5%	0.0%	25.9%	5.2%	100.0%
H17	人数	1	1	14	0	0	30	1	9	12	68
	割合	1.5%	1.5%	20.6%	0.0%	0.0%	44.1%	1.5%	13.2%	17.6%	100.0%
H18	人数	7	1	16	0	0	22	1	16	2	65
	割合	10.8%	1.5%	24.6%	0.0%	0.0%	33.8%	1.5%	24.6%	3.1%	100.0%

【出典：福井県高等学校定時制通信制教育概要】

- 平成19年3月定時制課程卒業者の就職および離職状況をみると、卒業後5か月までに離職した割合は18.3%となっている。

区分		就職内定者数			就職 した 人数	調査結果		離職	
		県内	県外	合計		把握 した 人数	把握 率	離職 した 人数	離職率
定 時 制	昼間	13	1	14	14	14	100.0%	3	21.4%
	夜間	3	0	3	3	3	100.0%	1	33.3%
	混在	35	4	39	43	43	100.0%	7	16.3%
	計	51	5	56	60	60	100.0%	11	18.3%
通信制		8	1	9	9	8	88.9%	1	12.5%

【出典：高校教育課調査(H19.8.31 現在)】

4 教育体制の在り方についての検討事項

- 現在、定時制・通信制課程においては、社会のニーズや生徒の多様化に対応し、生徒が自分の能力、興味・関心に応じて学習することができ、将来社会の一員として活躍するための教育体制の充実が求められている。
- こうしたことから、今後、教育体制の在り方について、主として以下の点について検討が必要と考えられる。

検討の方向性

1 生徒の学習ニーズに合った学科の在り方

- ・ 生徒の学習ニーズに合った選択科目をできるだけ多く開設するなど、魅力あるカリキュラム編成の在り方について検討が必要。

2 教育相談体制の在り方

- ・ 定時制・通信制高校に通う生徒の半数以上が就業しておらず、こうした生徒たちが将来社会で活躍することができるよう、自己の適性、将来の進路等に関する指導・援助体制の充実について検討が必要。
- ・ 生徒が学業を継続することができるよう、精神的な面での支援の充実など、教育相談体制の充実について検討が必要。

論点3

教育効果を高めるためには、学校の規模、配置はどうあるべきか。

【現状と課題】

1 入学者選抜における定員充足率の推移

- 県立定時制高校の過去10年間の募集定員の充足率は、定時制全体で40%で、昼間部で高く夜間部で低い傾向にある。(平成19年度入学者数:208人(定員520人))
- 単位制をとる武生の昼間部の充足率は、定時制で唯一、毎年90%前後。
- 通信制課程の充足率は年々低下傾向にある。(平成19年度充足率:学年制コース27.5% 単位制コース50.0%)

<県立定時制高等学校>

年度	昼間制			夜間制			合 計		
	募集定員	入学者数	充足率	募集定員	入学者数	充足率	募集定員	入学者数	充足率
H11	280	159	56.8%	240	58	24.2%	520	217	41.7%
H12	280	166	59.3%	240	63	26.3%	520	229	44.0%
H13	280	144	51.4%	240	49	20.4%	520	193	37.1%
H14	280	168	60.0%	240	50	20.8%	520	218	41.9%
H15	280	127	45.4%	240	70	29.2%	520	197	37.9%
H16	280	151	53.9%	240	62	25.8%	520	213	41.0%
H17	280	105	37.5%	240	61	25.4%	520	166	31.9%
H18	280	108	38.6%	240	70	29.2%	520	178	34.2%
H19	280	138	49.3%	240	70	29.2%	520	208	40.0%

<武生昼間部>

募集定員	入学者数	充足率
40	40	100.0%
40	40	100.0%
40	40	100.0%
40	40	100.0%
40	41	102.5%
40	35	87.5%
40	36	90.0%
40	35	87.5%
40	37	92.5%

<道守高等学校通信制課程>

年度	学年制(普通科)			単位制			合 計		
	募集定員	入学者数	充足率	募集定員	入学者数	充足率	募集定員	入学者数	充足率
H11	120	69	57.5%	80	79	98.8%	200	148	74.0%
H12	120	46	38.3%	80	80	100.0%	200	126	63.0%
H13	120	63	52.5%	80	72	90.0%	200	135	67.5%
H14	120	64	53.3%	80	65	81.3%	200	129	64.5%
H15	120	54	45.0%	80	78	97.5%	200	132	66.0%
H16	120	64	53.3%	80	72	90.0%	200	136	68.0%
H17	120	79	65.8%	80	54	67.5%	200	133	66.5%
H18	120	39	32.5%	80	50	62.5%	200	89	44.5%
H19	120	33	27.5%	80	40	50.0%	200	73	36.5%

【出典:福井県高等学校定時制通信制教育概要】

2 定時制・通信制課程の主な経緯

- 昭和57年3月に「福井県立高等学校定時制通信制教育問題懇話会」の答申において、「当該学科の第1学年および第2学年の在籍生徒数が、それぞれ10名に満たない場合は、翌年度の入学者の募集を停止する」との基本方針が示された。
- 以降、この基本方針に沿って、定時制課程の整理・統合が行われるとともに、新たに単位制課程の導入が図られた。

<主 な 経 緯>

- ・昭和57年 3月 福井県立高等学校定時制通信制教育問題懇話会 答申
- ・昭和58年 4月 以下の高校について、定時制課程の募集停止
 - ・大野高校 夜間定時制普通科
 - ・鯖江高校 昼間定時制普通科
 - ・丹生高校(織田分校) 夜間定時制普通科
- ・昭和60年 3月 大野高校 夜間定時制課程廃止
- ・昭和61年 3月 鯖江高校昼間部廃止、丹生高校織田分校廃校
- ・平成 4年 3月 勝山南高校定時制課程廃止
- ・平成 4年 4月 道守高校通信制課程単位制コース設置
- ・平成 7年 4月 武生高校定時制 単位制課程に移行
- ・平成11年 4月 勝山高校定時制募集停止
- ・平成14年 3月 勝山高校定時制廃止

3 学校の規模・配置についての検討事項

- 定時制・通信制課程の生徒数の減少は、少人数によるきめ細やかな指導が可能となる反面、部活動・学校行事など集団による教育活動に影響を与え、教育効果を十分発揮しにくい状況を生み出す。
- 学習活動においても、多様なカリキュラム編成等を行うことができないなどの支障をきたすことから、主として以下の点について検討が必要と考えられる。

検討の方向性

- ・ 教育効果を十分に発揮させるため、望ましい学校規模について検討が必要。
- ・ 生徒の通学に支障をきたさないよう、本県の地理的特性について配慮し、望ましい配置について検討が必要。
- ・ 通信制課程については、生徒の就学希望や様々な年代からの学習ニーズに対応するため、就学に便利な場所への設置などについて検討が必要。

【参 考 資 料】

近県における定時制・通信制高等学校の状況

都道府県	学校名	設置者	単独併置	授業形態	学科名	昼夜	平成19年度 全学年			平成19年度 第1学年の数				教員数	講師数	講師持時間数
							学級数	定員	生徒数	学級数	定員	生徒数	1クラス当り			
福井県	丸岡城東分校	県	分校	併修 二部制	普通	昼	8	320	77	2	80	29	15	18	1	18
	大野	県	併置	併修 二部制	普通	昼	8	320	66	2	80	21	11	18	9	46
	鯖江	県	併置	併修	普通	夜	4	160	39	1	40	16	16	8	2	14
	武生	県	併置	併修 単位制	普通	昼	3	160	94	1	40	37	37	17	4	24
	敦賀	県	併置	併修	普通	夜	4	160	40	1	40	18	18	8	1	18
	若狭	県	併置		普通	夜	4	160	38	1	40	8	8	6	3	17
	道守	県	単独	併修 二部制	普通	昼	8	320	195	2	80	85	43	32	5	29
				併修	普通	夜	4	160	47	1	40	22	22			
					商業	夜	4	160	24	1	40	4	4			
	道守	県	単独 通信	併修	普通	昼	8	480	629	2	120	68	34	22	15	114
					家政		0	480	0	0	120	0	0			
					衛生看護 (技能連携)		3	480	6	1	120	1	1			
					単位制	普通	9	240	335	3	80	74	25			

石川県	加賀聖城	県	単独	単位制 併修 技能連携 実務代替	普通	夜	4	160	30	1	40	10	10	7	4	24
	加賀聖城	県	単独	単位制 併修 実務代替	普通	昼	4	160	71	1	40	21	21	10	3	8
	小松北	県	単独	単位制 併修 実務代替	普通	夜	4	160	33	1	40	8	8	7	3	8
	小松北	県	単独	単位制 併修 実務代替	普通	昼	4	160	107	1	40	34	34	7	4	16
	金沢泉丘	県	通信制	技能連携 併修 単位制	普通 衛生看護	通信	13	960	493	2	240	64	32	18	12	61
	金沢中央	県	単独 単位制	技能連携 併修 単位制 実務代替	総合	夜	8	320	37	1	40	6	6	11	6	16
	金沢中央	県	単独 単位制	技能連携 併修 単位制 実務代替 二部制	総合	昼	16	640	352	4	160	127	32	41	9	55
	石川工	県	併置	技能連携 併修 単位制 実務代替	工	夜	2	80	16	本年度募集停止				5	4	10
	金沢市立工	市	併置	単位制 実務代替	工(産科校舎)	夜	4	160	72	1	40	23	23	11	11	50
	羽松	県	単独	単位制 併修 実務代替 一部連携	普通	昼	4	160	71	1	40	23	23	8	8	53
	七尾城北	県	単独	単位制 一部連携 一部併修	普通	夜	4	160	45	1	40	9	9	11	2	8
	輪島	県	併置	併修 単位制 実務代替	普通	夜	4	160	15	1	40	3	3	6	1	9

都道府県	学校名	設置者	単独併置	授業形態	学科名	昼夜	平成19年度 全学年			平成19年度 第1学年の数				教員数	講師数	講師持時間数
							学級数	定員	生徒数	学級数	定員	生徒数	1クラス当り			
富山県	新川みどり野	県	単独	一部連携 併修 三部制 単位制	普通 福祉教養	昼・夜	16	640	175	4	160	43	11	36	4	28
	富山工	県	併置	併修 一部連携	機械 電気 生産機械	夜	11	440	37	3	120	12	4	16	4	32
	雄峰	県	単独	併修 単位制	普通 情報・文化 生活文化	昼・夜	27	1120	332	8	300	116	15	48	10	62
	雄峰	県	通信制	単位制 一部連携	普通 生活文化 衛生看護	通信	18	1200	1203	5	300	442	89	19	4	22
	雄峰	県	通信制		(専) 生活科学	昼・夜	8	160	107	4	80	57	15	10	43	55
	志貴野	県	単独	三部制 併修 実務代替 単位制	普通 情報・文化 生活文化 国際教養	昼・夜	24	960	331	6	240	91	16	51	12	52
	小矢部園芸	県	分校	単位制	園芸	昼	3	120	94	1	40	28	28	14	10	41
	となみ野	県	単独	技能連携 併修 単位制 二部制	普通 総合福祉	昼	12	480	126	3	120	40	14	31	16	74

都道府県	学校名	設置者	単独併置	授業形態	学科名	昼夜	平成19年度 全学年			平成19年度 第1学年の数				教員数	講師数	講師待時間数
							学級数	定員	生徒数	学級数	定員	生徒数	1クラス当り			
岐阜県	華陽フロンティア	県	単独	単位制 三部制	普通	朝・昼・夜	18	600	626	5	200	200	40	42	4	36
	華陽フロンティア	県	通信制	単位制	普通	通信	13	840	545	4	280	153	39	19	8	71
	岐阜商	県	併置	単位制	商業	夜	4	160	113	1	40	41	41	10	5	32
	岐阜工	県	併置	単位制	工業	夜	4	160	117	1	40	40	40	10	5	26
	大垣商	県	併置	単位制	商業	夜	4	160	105	1	40	39	39	10	2	13
	大垣工	県	併置	単位制	工業	夜	4	160	126	1	40	42	42	10	7	39
	加茂	県	併置	単位制	普通	夜	4	160	135	1	40	40	40	8	3	12
	多治見北	県	併置	単位制	平成19年3月で定時制を閉じる											
	東濃フロンティア	県	単独	単位制 三部制	普通	朝・昼・夜	10	360	286	3	120	101	34	36	8	73
	中津	県	併置	単位制	普通	夜	4	160	48	1	40	18	18	6	3	6
	飛騨高山	県	併置	単位制 実務代替	普通	夜	4	160	51	1	40	21	21	6	1	12
	飛騨高山	県	通信制	単位制	普通	通信	4	430	107	1	80	34	34	6	3	20
	関商工	市	併置		工業(機械)	夜	4	160	52	1	40	21	21	7	4	39
	阿木	市	単独		生産 総合科学 生活	昼	8	320	216	2	80	71	36	15	8	52

都道府県	学校名	設置者	単独併置	授業形態	学科名	昼夜	平成19年度 全学年			平成19年度 第1学年の数				教員数	講師数	講師待時間数
							学級数	定員	生徒数	学級数	定員	生徒数	1クラス当り			
滋賀県	大津清陵	県	単独	単位制 併修	普通	昼	11	240	203	4	80	77	20	20	2	18
	大津清陵馬場	県	分校	単位制 併修 実務代替	普通	夜	4	160	168	1	40	39	39	12	10	47
	大津清陵	県	通信制	単位制 併修	普通	昼	22		1169		320	251		23	6	62
	瀬田	県	単独	併修 実務代替	工(機電)	夜	8	320	163	2	80	66	33	22	19	127
	彦根東	県	併置	技能連携 併修	普通	夜	4	160	88	1	40	24	24	9	2	6
	彦根工業	県	併置	併修	工(機)	夜	4	160	60	1	40	20	20	13	2	4
	長浜北星	県	併置	併修 実務代替	商業	夜	4	160	49	1	40	19	19	9	2	4
	綾羽	私	単独	技能連携 二部制 実務代替	普・食・介	昼	15	627	590	5	209	205	42	35	17	115
	綾羽	私	通信制	単位制 併修 実務代替	普通	昼	15	555	509	5	185	160	32	8	31	148
	司学館	私	単独	単位制	普通	昼	12	360	123	3	120	10	4	6	5	